

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和6年6月定例会	
議案番号 議案名	議案第9号 財産の取得について
議員名・会派名等	鈴木智明 公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>以下の討論をもって、態度決定に至った理由といたします。</p> <p>ただいま議題となっております議案第9号、財産の取得について、会派を代表し、委員長報告に賛成の立場から討論を行います。</p> <p>松戸市が、国から相模台の国有地の売却意向を受けて、もうすぐ10年になろうとしています。</p> <p>その間、本市では松戸駅周辺地域における都市機能の更新時期を迎えている事や、商業・業務面において活力が薄れつつある事から、平成27年6月に「松戸駅周辺まちづくり基本構想」を策定し、松戸駅周辺の活気と賑わいを創出するために、一貫して取り組んで頂いております。</p> <p>その中では、相模台地区の台地部における課題として、「官舎跡地の有効活用が図られていない」、「公園、大学、公共施設が立地しているが、低地部や国道6号線からのアクセスが不十分である」、「松戸中央公園は、規模及び立地特性が活かされていない」といった事が論じられてきました。</p> <p>そこで、平成30年3月に「新拠点ゾーン整備基本構想」を策定し、新たな松戸の顔となる拠点として、「官舎跡地や松戸中央公園等の一体開発により、ランドマークとなる多機能拠点づくり」を行う事が示され、整備が進められてきました。</p> <p>中でも、市役所用地としての国有地取得は、新拠点ゾーンの要となる事業であり、将来の松戸市の発展のため、欠くことのできないものであります。</p> <p>令和5年5月に策定の「市役所機能再編整備基本構想」では、市役所庁舎の現地建替えと移転の両案が比較検討されています。</p> <p>ここでは、災害対応拠点、まちづくり、市民サービス等の視点である定性的視点と、事業スケジュール、事業の実現</p>

性、事業収支等の視点である定量的視点が示され、これらを総合的に勘案すると、新拠点ゾーンの移転建替えに変わる候補地はないものと理解することができます。

そして、このまちづくりの視点では、新拠点ゾーン南側の国有地について、「早期の取得が可能であり、まちづくりに生かすことができる。」との評価があり、図書館等の複合文化施設と合わせて、賑わい創出の起爆剤となり、既存商店街の活性化に寄与することが期待されています。

また、令和3年9月には、都市再生緊急整備地域にも政令指定され、民間事業者の機運の醸成と共に、新たな街の魅力を創出していく上で、今はまさに絶好の機会にあります。

このように、今回の国有地取得は、本市の中心市街地である、松戸駅周辺の活性化において、千歳一遇のチャンスであり、市内全体の発展に寄与する大変重要な事業であると考えます。

近年の頻発化・激甚化している自然災害の状況を見ると、市役所本庁舎の老朽化は著しく、一刻も早い建て替えが必要であり、万難を排して市役所が一丸となって進める事が大切です。

今、このとき、一刻も早い市役所本庁舎の建替えを進めることを強く訴え、議案第9号、財産の取得について、会派公明党を代表しての、賛成討論といたします。

ありがとうございました。